



## 議会だより



2月から新議会発足

議員1人がけが療養中につき9月議会で全員集合の写真を撮影

九月  
定  
例  
会

|                                            |           |
|--------------------------------------------|-----------|
| 審議の結果（8月臨時会）                               | 2P        |
| 議案の審議 そこが聞きたいQ&A（8月臨時会）                    | 2P        |
| <b>コラム</b> (1)コロナ禍・(2)全国旅行支援・(3)台風14号による被害 | 2P・6P・13P |
| 審議の結果（9月定例会）                               | 3P～4P     |
| 議案の審議 そこが聞きたいQ&A（9月定例会）                    | 4P～5P     |
| <b>一般質問</b> （6人が登壇）                        | 6P～11P    |
| <b>産業建設常任委員会視察 結果報告</b>                    | 12P       |
| 議長一口メモ！                                    | 13P       |
| 編集後記                                       | 14P       |



### 議会中継視聴

仁淀川町のホームページからもアクセスできます。  
<http://www.town.niyodogawa.lg.jp/>

### スマートフォンで視聴

左記の二次元コードを読み取って、スマートフォン用サイトへアクセスできます。なお、スマートフォンで映像をご覧になる場合は、Wi-Fiを安定して利用できる場所での閲覧を推奨します。

高知県仁淀川町議会

# 議案の審議結果

令和4年第4回仁淀川町議会8月臨時会議決事項

| 議案番号   | 件名                                                               | 議決結果 | 賛否   |
|--------|------------------------------------------------------------------|------|------|
| 報告第16号 | 専決処分の報告について<br>(令和3年度 仁淀川町林業振興センター新築工事)                          | 報告のみ | 報告のみ |
| 報告第17号 | 専決処分の報告について<br>(令和3年度 地方創生道整備推進交付金事業町道寺村線改良工事)                   | 報告のみ | 報告のみ |
| 議案第44号 | 令和4年度 生活基盤施設耐震化等交付金事業 仁淀川町簡易水道整備事業(基幹改良) 名野川配水区管路改修工事請負契約の締結について | 原案可決 | 全員賛成 |

議案の審議  
そこが聞きたい Q & A

第4回(8月)臨時会

■専決処分の報告について(令和3年度仁淀川町林業振興センター新築工事)

問 竹本議員

外構工事の追加による増額とのことだが、変更年月日が6月議会の最終日、6月8日となっている。追加議案としての提出はできなかったのか。

答 荒木産業建設課長

予定していた外構工事に追加したもので、変更日が8日となったことについては、意図したものではなく、ご了承いただきたい。



(1) “コロナ禍”

つい先日までわが町でもコロナ感染者が続出していたが、やっと第7波といわれる感染拡大が落ち着きつつある。

各地区で計画されていた夏祭りなどの各行事がすべて中止になり、人と人とのつながりが薄れてきている。

片や町内各地の観光地には、夏休みには盆を中心に、また、9月の連休にも多くの県外観光客が押し寄せ賑わいを見せている。

町内住民のコロナに対する意識と、コロナ疲れをした県外観光客との意識の差を感じざるを得ない。

約3年前に始まったコロナ感染、今までの経験を基に、感染症を恐れるばかり

でなく、コロナとどのように共存していくか、真剣に考えなければならぬと思う。

コロナを契機に地方が見直されている。人口減少が止まらない本町だが、近年、I・Uターンの方がカフェや飲食店などの開業を目指し、すでに開業している店もある。このような方がこの地に定住してくれるよう町民全体で応援したい。

(竹本文直 記)



たくさんの観光客が訪れる宮崎の河原

# 議案の審議結果

令和 4 年第 5 回仁淀川町議会 9 月定例会議決事項

| 議案番号    | 件 名                                         | 議決結果 | 賛否      |
|---------|---------------------------------------------|------|---------|
| 報告第18号  | 専決処分の報告について（物損事故に係る和解について）                  | 原案報告 | 報告のみ    |
| 認定第 1 号 | 令和 3 年度仁淀川町一般会計歳入歳出決算の認定について                | 原案認定 | 全員賛成    |
| 認定第 2 号 | 令和 3 年度仁淀川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について          | 原案認定 | 全員賛成    |
| 認定第 3 号 | 令和 3 年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定歳入歳出決算の認定について | 原案認定 | 全員賛成    |
| 認定第 4 号 | 令和 3 年度仁淀川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について            | 原案認定 | 全員賛成    |
| 認定第 5 号 | 令和 3 年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について         | 原案認定 | 全員賛成    |
| 認定第 6 号 | 令和 3 年度仁淀川町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について          | 原案認定 | 全員賛成    |
| 認定第 7 号 | 令和 3 年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について        | 原案認定 | 全員賛成    |
| 認定第 8 号 | 令和 3 年度仁淀川町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について        | 原案認定 | 全員賛成    |
| 議案第45号  | 西尾レントオールブルーの森整備基金条例について                     | 原案可決 | 全員賛成    |
| 議案第46号  | 和建設一和の森整備基金条例について                           | 原案可決 | 全員賛成    |
| 議案第47号  | 仁淀川町ふれあい公園キャンプ場等の設置及び管理に関する条例について           | 原案可決 | 反対:若藤議員 |
| 議案第48号  | 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について                | 原案可決 | 全員賛成    |
| 議案第49号  | 令和 4 年度仁淀川町一般会計補正予算（第 2 号）について              | 原案可決 | 全員賛成    |
| 議案第50号  | 令和 4 年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について        | 原案可決 | 全員賛成    |
| 議案第51号  | 令和 4 年度仁淀川町国民健康保険直診勘定特別会計補正予算（第 1 号）について    | 原案可決 | 全員賛成    |

# 議案の審議結果

令和 4 年第 5 回仁淀川町議会 9 月定例会議決事項

| 議案番号    | 件 名                                       | 議決結果 | 賛否   |
|---------|-------------------------------------------|------|------|
| 議案第52号  | 令和 4 年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について        | 原案可決 | 全員賛成 |
| 議案第53号  | 令和 4 年度仁淀川町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について      | 原案可決 | 全員賛成 |
| 議案第54号  | 令和 4 年度仁淀川町会計事務集中管理特別会計補正予算（第 1 号）について    | 原案可決 | 全員賛成 |
| 議案第55号  | 高知県広域食肉センター事務組合理約の一部変更について                | 原案可決 | 全員賛成 |
| 議案第56号  | 令和 4 年度 道整備推進交付金事業 林道大峠北浦線開設工事請負契約の締結について | 原案可決 | 全員賛成 |
| 議案第57号  | 財産の取得について                                 | 原案可決 | 全員賛成 |
| 議案第58号  | 仁淀川町過疎地域持続的発展計画の変更について                    | 原案可決 | 全員賛成 |
| 同意第 4 号 | 教育委員の任命について                               | 原案同意 | 全員賛成 |

## 議案の審議

そこが聞きたい

— 第 5 回（9 月）定例会 —

Q & A

問 若藤議員  
基金を「預金その他最も  
確実かつ有利な方法で保  
管」とあるが、どのような  
方法か。

答 荒木産業建設課長  
西尾レントオールは、坂  
本地区ツボイの町有林 50  
ha で、年間 300 万円です。3 年間。  
和建設は、長坂地区の町有  
林 34 ha、3 年間で 250 万円を  
財源とする。

問 片岡議員  
事業計画地はどこか。

答 荒木産業建設課長  
二酸化炭素削減に関心のある  
企業と提携し、地域の  
森林を守っていく事業。企  
業からの寄付金で間伐を  
行ったり、都市と地域の交  
流を図るため、新入社員  
の研修も行っている。

問 藤原議員  
協働の森づくり事業の内  
容説明を。

■西尾レントオール・ブ  
ルの森整備基金条例に  
ついて

答 片岡会計管理者兼出納室長  
定期預金での運用を考えている。

問 岡田議員  
企業からの協賛金だけでは間伐はできない。地元業者を育成するため、事業の仕組みを考えていただきたい。

答 古味町長  
間伐の費用の一部に企業からの協賛金を充て、間伐を進めていく、企業の従業員などと交流も深めていくという事業。ご理解をお願いしたい。

問 岡田議員  
現地も見て、これからの事業を考えていくべき。

答 荒木産業建設課長  
現地を見て勉強していく。

■仁淀川町ふれあい公園  
キャンプ場等の設置及び管理に関する条例について

問 竹本議員  
キャンプ場の区割りや利用料金の設定はどのようにしていくか。利用客ではない釣り客からも駐車料金をもらうのか。

答 大原池川地域振興課長  
指定管理者と利用時間などに応じた利用料金を決定していく。予約制とし、釣り客からの駐車料金については検討する。

問 竹本議員  
町として内容を示した上で、指定管理者と話し合うように。

答 池川地域振興課長  
利用人数によって対応できるような区割りを考えている。

問 竹本議員  
来シーズンに間に合うよう、先進地の例などを参考に計画を



仁淀川町ふれあい公園

立て、指定管理者の選考を。

答 古味町長  
12月議会で指定管理者を決定後、計画を立てていきたい。

問 若藤議員  
指定管理者が決定してから詳細を決めるのではなく、町として最初に道筋を立て、決定するように。

答 古味町長  
管理内容や金額面など、仕様書を作成した上で、密に話していく。

■令和4年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

問 大野(直)議員  
仁淀川町の国保税が安かった理由は、今後、徴収率が下がるのでは。

答 古味町長  
基金の投入などで安く抑えていた。今後も徴収率が落ちないように努める。

■仁淀川町過疎地域持続的発展計画について

問 竹本議員  
観光またはレクリエーション事業で追加されたものの具体的な説明を。地球温暖化に寄与する事業への補助金は、個人住宅の太陽光パネルは対象となるか。

答 古味企画課長  
4月に落石のあったキャンプ場の整備を計画。

答 神岡仁淀支所長兼地域振興課長  
岩屋川のアクティビティ施設整備。

答 竹本副町長  
池川の下土居地区への駐車場整備。

答 古味町長  
現在、個人住宅への補助はない。今後、公の施設などに太陽光パネルを設置し、自家消費するモデル事業を計画していく予定。

問 竹本議員  
災害時の自家消費や電気料金の節減のためにも、補助の検討を。

答 古味町長  
個人資産の形成となるため、国県の補助制度なども確認しながら検討する。

## 高規格道路について

④国が検討中



問 片岡智准議員

高規格道路について、先の全員協議会で町から説明のあった、大崎橋建設に付随した、高規格道路建設案は物流を中心に考えた場合はしかりと考えるが、本町の過疎対策や高齢者対策を考えると、提案の計画では町内が疲弊し、過疎が一段と進む。今後は住民の意思、意見をよく確認し計画を進めるよう強く望む。

答 古味町長

現在は、昨今の異常気象の発生状況に鑑み、雨量規制の状況を解消すべく、国道33号の高規格化及び防災対策について、国に強く要望している。

今年7月6日に示したルート案は、加枝・久喜地区へのアクセスを確保する線形で、寺村から相能・引地を結ぶ計画の一例で、決定ではなく、実際のルートは経済性や実現性を考慮し最終的には国が決定する。また住民の希望を反映することは重要で、変化にも柔軟に対応したい。

問 片岡

今回の案ではトンネルが延べ2.8km、橋が3カ所、400m、大崎地区は通過しない。大崎橋建設に絡み再三再四された、地元住民への説明がすべて水泡であれば、地元の方に時間をかけ懇切丁寧に説明し、相当の方が納得を得られる形で進められたい。

答 町長

高規格道路は時速60km以上で走行を提供するサービスで、都市部へのスムーズな流れを促すもの。それにより観光誘致や消費拡大に結びつけたいと考えている。

## 防災無線の活用について

④通行止めは放送してない

問 片岡

従来は防災無線で国道33号の通行止めや解除を放送していたが今回はなく、今後してもらえないか。

また、新型コロナウイルスについて、個人名までは不要だが、最低旧町村地区程度までは放送できないか。

答 町長

防災無線での通行止め・解除の放送は、いろいろな課題があり行っていない。ただ、これまでも町民バスの運休やごみ収集の中止などをお知らせするようにしている。

また、地区別のコロナの感染状況は保健所からの公表でも把握できず、地区特定につながる情報はない。なお、国道の通行止めについては、土佐国道管理事務所に

務所に対して、報道機関によるお知らせなどを要望し、なるべく住民生活に配慮しながら対応するのでご理解されたい。



(2) “全国旅行支援”

観光庁が実施する全国を対象とした観光需要喚起策。新型コロナウイルスの感染拡大により延期されていたが、10月11日から開始している。対象期間は、12月下旬まで。割引率は、旅行代金の40%、上限額は交通付き宿泊で8千円、それ以外は5千円、クーポン券が平日3千円、休日1千円となっている。

利用条件として、ワクチンの3回接種、またはPCR検査陰性の証明などが必要。

詳しくは、観光庁の公式サイトや旅行予約サイトにて！

(藤原 大 記)

## ◆全国旅行支援 都道府県連絡先



併せて、県内・町内で使える『食べ飲みトク得クーポン』もあります。これを機に、各地の良いところを見つけてきましょう！

## ◆食べ飲みトク得クーポン (高知県)



## 一般質問



問 藤原 大議員

8月中旬に大崎郵便局の窓口が1週間ほど閉まっていたが、住民に周知されておらず、年金の引き出しなど利用者が不便に感じていた。

町は何か行動できなかったか、今後同様なことがあった場合、対応できないか。

また、個人のプライバシー保護には十分配慮する必要があると思うが、学校

などの施設単位でクラスターが発生した場合、情報の公表と対応を聞く。

答 古味町長

大崎郵便局の業務休止の周知については、防災情報や緊急情報などの提供に使用すること、併せて平時には一般行政事務に使用できる無線局になり、民間企業などへの対応は防災行政無線の設置目的にそぐわないため難しい。

学校などの施設でのクラスター発生時の情報と対応の発信については、個人が特定され、いじめや差別、偏見、風評被害などを受けおそれがあり、プライバシー保護の観点からも、県が公表している情報以外に、町からの情報発信はできない。役場庁舎内でクラスターが発生した場合は、周知する。

問 藤原

役場内で大崎郵便局業務休止の情報を周知していたと聞いた。役場内全体で周知するということは町民にも周知すべきではないか。

答 町長

役場内については業務の関連もあり、今閉まっていたことを職員に周知した。

郵便局、銀行、J A、コンビニなど生活に関連する事業者は数多く、公的機関以外は役場からの周知が難しい。

### フードプランの排水について

③新設の浄化槽を設置する

問 藤原

以前から問題になっていた土居川の水質、臭いの件について、現状どのように把握・対応しているか。今までに対応してきたことや、今後の対応について聞く。

答 町長

令和3年7月21日に、水質検査結果が通知され、BOD(生物化学的酸素要求量)が、基準値を超過しているほか、SS(浮遊物質)が、日間平均値を超過するおそれがあると報告があった。町としても原因調

査の結果、環境への配慮と経費節減のために導入した生ごみ処理機からの排水が主原因と考えられ、昨年8月から排水の簡易ろ過装置を設置し、浄化槽の汚泥の抜き取り回数を増やすなどの対応を実施している。現在は毎月自主簡易検査を実施し、BOD及びSSの値はともに基準内にあるが、不安定な状況。

臭いについて、小郷川近辺で野菜の発酵臭があり、近隣住民にも少なからず影響がある。

今後の計画は、水質について、11月に導入予定の高濃度排水処理槽で生ごみ処理機からの排水を処理し、安定的に基準値以下の排水を行える予定。この処理槽は雑菌抑制効果や、消臭効果も確認されており、臭いについても効果があ

るものと期待している。



小郷川へ流れ込んでいる谷(白いヘドロが堆積している)

問 藤原

現在、谷にヘドロのような白い泥がこびりついている。通常通行していても、見えないところの清掃などは予定しているか。

答 竹本副町長

非常に水量の少ない時期などに、そういった現象が起きることは、会社のほうも把握している。年に数回、職員が対応している。今後は新しい浄化装置などの設置により、軽減されると思うているが、状況を見ながら対応していきたい。

## 町道管理について

〔答〕一定の管理は必要



問 竹本文直議員

池川地区の瓜生野。一番上の家から手前数百メートルは、何年も草刈りができていない。住居が存在し、墓もある。墓参りに帰るときでも帰れないような状況。このような集落内は、町として管理すべきでは。

答 古味町長

用居地区の道路維持作業員の方が、4月から不在となっていたが、9月から作

業していただける方が見つかったので、側溝の清掃、草刈りなど今後実施していく。

住民不在地区、高齢で維持管理などができなくなった地区については、今後、地域長制度が全町的に確立されれば、各地域に補助金制度の創設を考えており、用途は地域で決め、この補助金を財源の一つとして活用することもできるので、ご理解いただきたい。



瓜生野地区の町道

問 竹本

住民不在地区であってもお宮の手入れなど、昔からその地域の文化などを守るうとする活動もされている。

生家や先祖の墓もあり、定年退職後、ふるさとで山の手入れを考えている人がいる。

固定資産税も納税されていると思うが、現状では、暮らすことができない状態。町管理の道路は年に数回の草刈りが必要では。

答 町長

消滅した集落の町道すべてを管理することは、費用面から大変だが、町道であり、宮の手入れや墓守ということもあることから、一定の管理は必要だと考えている。しかし、通常使用している町道

ほどの管理は難しく、今後、使用可能程度の管理はしていかなければと考えている。

## 町独自の補助金制度を

〔答〕検討をする

問 竹本

移住対策事業で空き家を利用し会社の宿舎にしている。都会からの移住者が多く、田舎のトイレになじめず、水洗にと考えたときに、国県の補助金制度は、個人が対象で法人は適用にならない。このような事例に対し、町独自の補助金制度をつくってはどうか。

答 町長

本町独自の移住施策補助金は、移住者または移住者に住宅を提供する者が行う住宅改修に要する費用に対し、10分の8以内で、100万円を限度として補助。移住時などに要する建物の賃貸借契約などの書類作成費用や、引っ越しに要した費用に対し、移住者1世帯当た

り5万円を限度として補助。また、環境保全施策に係る補助金では、仁淀川町合併浄化槽設置補助金制度。ほかにも補助金制度があるが、国県の補助金制度に該当せず、本町の活性化並びに、公共の用に供するために、町独自の補助金制度の設置の必要があれば検討していく。

問 竹本

空き家は、そのまま入れる状態ではない、100万円はリフォームに全部消え、トイレの改修まで回らない、浄化槽の補助は個人が対象で、法人にはなく、隙間がどうしても出てくると思う。

答 町長

合併浄化槽は、国県の補助で設置しており、法人に補助を出せば、そういった補助が全くもらえず、単独事業になってしまったため、その辺も考えつつ、今後何ができるかを考えていきたい。

## 光ファイバー網の整備を

〔答〕全域整備に向け  
検討する

問 竹本文直議員

全域に光ファイバー網が整備されていないのは、この近隣では本町だけとなった。光ファイバーがあることによって、インターネットを利用した見守りなど、いろいろな活用ができる。全域整備に向けて取り組む必要があると考えるが。

答 町長

今年3月、総務省において、国家インフラ整備計画が公表され、令和3年3月末の99・3%となっている国内の光ファイバー世帯カバー率を令和9年3月末までに99・9%とすることを目標として取り組んでおり、今年4月上旬から1カ月間、光ファイバー未整備地区を対象に、光ファイバー利用のニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。

現在、通信事業者におい

て、アンケートで特にニーズの高かった地区や、光ファイバー整備の要望書の提出があった地区などを対象に、整備に係る経費の試算や、費用対効果などを加味して整備。整備地区の検討をしている。併せて、町内全域の光ファイバー整備を目指し、ユニバーサルサービスとして国主導による整備の実現を引き続き、強く要望していく。

町では、光ファイバー未整備地区を対象にモバイル通信機器購入費の補助を行っている。活用を。

問 大野直孝議員

来年のNHK朝ドラで牧野富太郎博士が取り上げられる。町内への観光波及効果へどのようなつながるか問う。

答 古味町長

連続テレビ小説らんまんの放映を見越し、県は、新たに、高知県博覧会受入環境等整備支援事業費補助金が創設され、活用するべく、今、議会に補正予算案を計

## 町内の観光事業について

## 〔答〕地域観光の誘客に努める



上させていただいている。また、県からの要請に基づいて、草花ガイドの養成を行うこととしている。そのほか、受け入れ環境整備を行うことにより、仁淀川町観光協会や、仁淀川流域市町村で構成されている仁淀ブルー観光協議会、その関係市町村とさらに連携して、地域観光の誘客につなげていきたい。

問 大野(直)

NHKの脚本の内容は分からないが、牧野富太郎博士と大倉遊仙、幸也さんとの関係が、なかなか面白い。中津川での、遊仙さんとのエピソードは大変テレビ向きだと思っている。また、ヤマトグサは、初めて日本人が名前を付けた植物であるということ、こちらを取り上げざるをえないのではないか。なお、NHKにプッシュしなければいけないが、鳥形、明神山系のこの放映は、町内の観光業にとっても非常に有力な資源になる。町の考えは。

答 町長

本町には、鳥形山森林植物公園や、名野川の明神地区など、牧野富太郎博士が、実際に植物の採取を行った、探査フィールドが多数存在している。今回の連続テレビ小説の放送を契機として、観光客増加が見込まれるが、案内板の老朽化や、植物に特化した観光ガイドの不足など、受け入れ体制が十分でない状況であるため、高知県博覧会受入環境整備費支援事業補助金を活用して、今年度、整備を実施していきたい。また、第44回高知県出版文化賞を受賞した『鳥形山系の花たち』にも、牧野博士が命名した草花が、数々紹介されており、草花ガイドで活用していただきたいと考えている。現在、図書室でも貸し出しを行っている。

仁淀川町観光協会や仁淀ブルー観光協議会と連携し、牧野博士ゆかりの地探索ツアーなど、広く募集して誘客に努めたいと考えている。

国民健康保険料の  
県内統一について聞く

⑧ 保険料は緩やかに上げる

問 藤堂賢太郎議員

国保は農林漁業者、年金生活者、失業者、自営業者などが加入。所得は低いのに保険料の個人負担が一番高い。高すぎる保険料が低所得者世帯を苦しめている。激変緩和措置により、2024年から6年間かけて本町では現在一人当たり年平均保険料8万470円が県に統一される2024年には10万6千868円に、2030年には県内どこに住んで

いても所得と世帯数が同じなら保険料は全県の平均額12万613円になるのか。  
いま、国民の大多数が円安、物価高、コロナ禍などの対応に追われ経済的にも大変。均等割、平等割は納税能力のないゼロ歳児にもかかり、加入者の医療分だけでなく、高齢者医療の支援分負担にもまわされている。「子どもがいる」は「特別な事情」と認定され、市町村の判断で国保料を免除できる(国保法77条 規定)。独自軽減か、やめたらどうか。

答 古味町長

県は少子高齢化が進んでいる。全国に先駆け、被保険者の減少で高額医療の発生で小規模な自治体は財政に支障が出ると思われる。現在は自治体ごとで保険料率が違う。公平な制度にすべく、県全体で支えあう仕組みにする。本町は、県内では下から2番目の低さだが、統一されれば12万いくらかの金額になる。何年間かけて緩やかに上げていきたい。

均等割は被保険者一人当たり定額で全員が平等に医療サービスが受けられる公平性から、廃止は適当でない。平等割については、一世帯に定額で賦課され、全世帯で負担する方式で、多子世帯・被保険者数の多い世帯は軽減になるなど、廃止は適当でない。

## 児童公園計画その後は

⑨ 適当な場所を検討する

問 藤堂

大崎地区に児童公園の設置を3月定例会で要望し、期待できる答弁があった。その後様子が変わっているが、対策を聞く。



診療所と体育館の間に児童公園向きの空き地が存在するが活用はどうか。車の通行も少なく、安全性も高いのではないか。

答 町長

グラウンド内の通行を考えると、安全の確保は厳しく適切でないとの判断に至った。引き続き、児童公園の必要性から場所を検討する。

答 竹本副町長

診療所と体育館の間の土地は、診療所の駐車場が狭いため、駐車場としての借り上げ、もしくは用地として買収を考え、診療所の駐車場用地として話を進める。

※読後、議会だよりに対するご意見、ご感想をお寄せください

(仁淀川町議会事務局) ☎0889-35-1081

☎781-1592 吾川郡仁淀川町大崎200番地

※メールアドレス gikai@town.niyodogawa.lg.jp

※議会を傍聴しませんか

(日程は、防災無線などでお知らせいたします)

## 一般質問



**遊休地を0円(無償)で  
譲渡する件について**

④ 現在、無償譲渡は  
考えていない



池川中学校横の町有地 (定住住宅建設予定地)

**問** 岡田良成議員

町内外の方で、本町で宅地を探している人がいる。本町の人口が増えれば、地方交付税も増える。町内にある遊休地を無償で譲渡してはどうか？

**答** 古味町長

平成23年度に仁淀川町若者定住促進不動産譲渡条例を制定しており、譲渡価格については、固定資産税評価額を基礎として算定し、

必要であれば増減が可能となっている。

無償譲渡となれば先行事例との格差が生じることとなり、新築する場合の助成や不動産の情報の提供などを検討していきたいと考えている。

**問** 岡田

定住するために町の良いところをアピールし、今、思いきった対策を打たなければ遅くなる。町民が何を望んでいるかを考え、勇気をもって判断し、決断を。

**答** 町長

建物の取り壊しや、造成の必要もあり、遊休地を無償で譲渡することは難しいと考えている。住宅を建築した場合の補助金制度、町職員の町外移住に対する抑制効果も期待でき、移住・若者定住につながる制度を創設したいと考えている。

**問** 岡田

遊休地を無償譲渡し、住宅を建築すれば、全国にもあまり例のない本町をアピールできる材料となる。他の町村では、30年間定住すれば住宅を無償で譲渡する事例もある。定住の施策を考えるべきでは。

**答** 町長

長期間居住した住宅を譲渡する制度や新築をした場合の補助金制度などを検討し、現在ある補助金制度についてもアピールして、移住・定住につなげていきたいと考えている。

## 高齢者住宅の 建築について

④ 長期的に考えている

**問** 岡田

大崎、川口住宅を取り壊し、高齢者の方々が安心して暮らせる高齢者住宅を大崎診療所前に建築してはどうか。

**答** 町長

高齢者住宅を新築するならば、大崎診療所に近い大崎住宅の場所が望ましいと思うが、移転建築するための用地がない。ヘルパーなど介護人材不足や一人暮らし、高齢者のニーズ及び社会情勢にも注視しながら高齢者住宅の建築について考えていく。

**問** 岡田

大崎、川口住宅を老朽化のため取り壊し、大崎診療所近くに高齢者住宅を強い要望がある。将来安心して暮

らせる、夢と希望のある住まいやすい、幸せを感じる。もっと町民の声を聞き、職員も一丸となって取り組み、良い町につながるのではないか。

**答** 町長

大崎住宅を建て替えるとなれば、現在の入居者がどこに住むか考えなければならぬ。高齢者住宅の建築には広大な土地が必要となるため、長期的に考えている。



大崎診療所のそばに建つ大崎団地

## 産業建設常任委員会視察 結果報告

産業建設常任委員会は、下記のとおり町内の建築・建設工事などの現地視察、意見交換会を行った。

委員長 岡 田 良 成

### 1 期 日

令和4年7月6日(水) 午前11時～午後5時15分

### 2 視 察 先

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| ◇新大崎橋予定現場（大崎） | ◇鳥形山植物公園展望台（大植）   |
| ◇林業振興センター（大崎） | ◇木こり屋バイオマス発電所（長者） |
| ◇秋葉の宿（高瀬）     | ◇星ヶ窪キャンプ場（長者）     |

### 3 参 加 者 17人

委員長 岡田 良成 副委員長 大野 直孝  
委員 野村 安夫・藤崎 源彦・藤原 大・大野 弘  
議会事務局1人、特別職2人、担当課長3人、担当職員5人

### 4 報 告

#### ◇新大崎橋の建設について

現在計画されている新大崎橋の建設は保留し、高規格道路の早期着工を強力に推進し、新大崎橋についてはその線形に沿った形での計画・設置を国と検討。それまでは現在の大崎橋に補修工事などを実施し、利用を続ける。



意見交換会



大崎橋予定現場視察



林業振興センター



秋葉の宿



鳥形山森林植物公園展望台昇り口



木こり屋バイオマス発電所



### (3) “台風14号による被害”

9月19日から20日未明に台風14号が高知県に接近し、日本海へ通過した。雨・風ともに強く、高知県内でも多くの爪痕を残し、町内各地でも建物・立木・畑地などの被害が続出した。

台風通過直後に各地を見て回ったところ、道路には立木が倒れ、枝が散乱。側溝のいたる所から水が溢れて無作為に山中に流れ込み。また建物の屋根瓦は剥がれて屋根土がむき出しに、屋内へは水がしたたり落ち、家財道具類は水浸し、ビニールハウ



台風14号で被害を受けたビニールハウス

スは屋根が剥がれて落ち、骨組みがむき出し、稲類はなぎ倒され無残な状態であった。

これまでは、幸いにも遠隔地の出来事として傍観し、どこかほっとしていた自分がいたが、程度の差はあれ実際に被害に直面すると途方に暮れる。

今回の台風では、幸いにも町内の被害は27時間に及ぶ停電の影響や建物の一部被害の程度で済み、建物の流出や倒壊までには至っておらず、被害程度は他府県より低いと考えられる。

しかし、当事者となれば、現実には直面する労働力や金銭の出費にはさほど差がないかもしれない。

自然災害でも大きくなれば補助の対象にもなるが、小さい被害は対象にはならず、すべて身出しとなる。行政に携わる我々とすれば「お気の毒」の一言で済ませるのか、補助対象の線引きを考えさせられる。

(片岡智準 記)

### 議長一ロメモ！

#### 「発言の自由と責任」

議会においては、特に言論を尊重し、その自由を保障している。会議原則の基本的なものとして「発言自由の原則」があげられている。

地方議員には免責特権はないが、その趣旨や精神は地方議会においても同様であって、もしも言論の自由がなくなれば、議員はその職責を果たすことは、到底不可能です。(議員必携)

しかし、発言が自由であるからといって、どんな内容の発言も許されるものではない。例えば、品位を落とす、個人のプライバシーに関する発言などは許されるものではない。また、それと同時に発言者は、自己の発言に責任を持つ。発言によっては、道義的責任を問われる場合もあるので十分注意したいものだ。執行部も議員もお互い気を付け、より良い議会運営に取り組みたい。

議長 大野 弘



# 「牧野富太郎が仁淀川町で発見した植物たち」 「トリガタハンショウヅル（鳥形半鐘蔓）」



きんぼうげ科（山地の明るい林内や林に生えるつる性の多年草、花期 4～6月）

牧野富太郎が東京大学の久保氏とともに日本の植物学史上に遺る「ヤマトグサ」の学名を発表した1889（明治22）年、富太郎が仁淀川町の鳥形山で発見し、2年後「日本植物志図編」に「トリガタハンショウヅル」として発表した。

宮城県以西の西日本に生息しており、特に珍しい植物ではないが、名前の元となった鳥形山では現在ほとんど見ることができない。鳥形山は石灰石の採石で標高は200メートルほど低くなったが、北面は天然林が遺されており仁淀川町立の鳥形山森林植物園公園として貴重な植物が多く見られる。

可憐な花は人気があり、園芸品種として広く販売されている。

撮影・著 吉岡郷継

## 議会日程

令和4年6月

7月8日 定例議会

7月7日 全員協議会

8月8日 議会だより特別委員会

8月24日 議会だより特別委員会

8月27日 高知県町村議会議長会理事会

8月28日 国道33号整備促進期成同盟会高知県協議会

8月28日 仁淀川町老人クラブ総会

7月

6月6日 産業建設常任委員会

6月13日 吾川郡町村議会議長会

6月15日 議会だより特別委員会

6月22日 仁淀川町身体障害者総会

6月28日 仁淀川町林業振興センター落成

8月

5月5日 臨時議会

5月12日 全員協議会

5月17日 国道494号整備促進期成同盟会

5月19日 土佐・長岡・吾川郡合同議員研修会

5月24日 町村議会議長研修会、県政に対する意見交換会

5月29日 広域議会

5月29日 佐川高校を後援する会

5月29日 佐川高校を後援する会

5月29日 佐川高校を後援する会

9月

6月6日 議会運営委員会

## 編集後記

夏が終わり、過ごしやす季節となりました。今年も新型コロナウイルスの影響により、町内の夏祭りなどが中止となりましたが、10月中旬から政府主導の全国旅行支援が始まりました。よさこい祭りも縮小開催され、徐々にコロナ前の日常が戻ってくる気配を感じています。

議会としても、議員研修会や町民との意見交換会の開催を楽しみにしています。  
（藤原 大 記）

委員長 藤原 大  
副委員長 藤崎 源彦  
委員 藤堂賢太郎  
大野 直孝  
竹本 文直  
大野 弘

議長 大野 弘

